

令和3年度スポーツ団体ガバナンスコード＜中央競技団体向け＞  
第3回適合性審査委員会議事録

日時：令和3年12月16日（木）9時～11時30分

場所：JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 12階 日本スポーツ協会「大会議室」

出席者：【委員】 菊地裕太郎委員長、松尾哲矢副委員長、小林久美、松永敬子、  
森岡裕策、靱井圭子、藤原正樹（敬称略）

【オブザーバー】 小塩康祐事務局アドバイザー

議案：令和3年度適合性審査について

1. 一般社団法人日本障害者カヌー協会

総合評価：適合

【好事例】 審査項目 23

研修の実施に加え、選手にアンケートを実施して選手の環境整備に積極的に取り組んでいることは、ガバナンス強化の好事例である。

2. 一般社団法人日本ろう自転車競技協会

総合評価：適合

要改善事項、好事例ともに無し。

3. 一般社団法人日本ろう者サッカー協会

総合評価：適合

要改善事項、好事例ともに無し。

4. 一般社団法人日本ボッチャ協会

総合評価：適合

【好事例】 16

スポンサー向けの協賛プログラム説明資料を整備し、競技の紹介・訴求のほか、協賛権についてもわかりやすく表示していることは、ガバナンス強化の好事例である。

5. 一般社団法人日本パラ陸上競技連盟

総合評価：適合

要改善事項、好事例ともに無し。

6. 一般社団法人日本パラサイクリング連盟

総合評価：適合

要改善事項、好事例ともに無し。

7. 一般社団法人日本身体障害者アーチェリー連盟

総合評価：適合

要改善事項、好事例ともに無し。

8. 日本ろう者ボウリング協会

総合評価：適合

要改善事項、好事例ともに無し。

9. 一般社団法人日本障がい者バドミントン連盟

総合評価：適合

要改善事項、好事例ともに無し。

10. 一般社団法人日本ろう者水泳協会

総合評価：適合

要改善事項、好事例ともに無し。

11. 公益財団法人日本バスケットボール協会

総合評価：適合

【好事例】 審査項目 22

eラーニングという手法を用いて人権、情報管理、八百長、アンチドーピング、心構え、コンプライアンスといった多岐にわたる内容について扱っていることは、ガバナンス強化の好事例である。

12. 公益社団法人日本ボート協会

総合評価：適合

【好事例】 審査項目 6

アスリート委員会の委員長は理事が務めており、構成メンバーは若手を中心に性別・出身母体に偏りが出ないように考慮されている。また、アスリート委員会として代表選手に対して活動状況等に関するアンケートを実施し、その結果が委員長（理事）を通じて業務執行会議に報告され、組織運営に反映される仕組みを構築していることは、

ガバナンス強化の好事例である。

13. 一般財団法人少林寺拳法連盟

総合評価：適合

【要改善事項】 審査項目 17 及び 29

世界大会に関する代表選考基準及び同基準の策定者に関する規程がない状況は、近い将来、当該団体の組織運営に支障をきたしかねないと判断し、要改善事項として指摘する。したがって、2023年3月末までに改善が望まれる。

令和 3年 12月 22日

議事録署名 菊地 裕太郎